

# 迎賓館前庭公開

迎賓館では、2012年11月1日（木）～3日（祝・土）の3日間、  
迎賓館前庭の公開を予定しています。

館内はご覧頂けません、国宝に指定された迎賓館本館を間近でご覧頂けます。  
参観と異なり、申込み不要で年齢制限もありませんので、お気軽にお越し頂けます。



迎賓館は、外国の元首や首相などの賓客に対して、  
宿泊その他の接遇を行うために設けられた国の施設です。  
賓客の滞在中は、首脳会談、表敬訪問、署名式、レセプションや晩餐会など  
様々な外交活動が行われ、これらの接遇を通じて、  
迎賓館はその国との間の相互理解や友好促進に大きな役割を果たしています。

紀州徳川家の江戸中屋敷があった広大な敷地の一部  
に1909年（明治42年）、東宮御所として建設。地上2階、  
地下1階の鉄骨補強煉瓦造り。

ジョサイア・コンドルの直弟子、片山東熊が総指揮をとり  
明治32年に着工、約10年の歳月をかけて完成した日本  
唯一のネオ・バロック様式の洋風建築。

東宮御所として完成したものの、皇太子（後の大正天  
皇）はここに住むことなく1911年（明治45年）、明治天皇  
が崩御すると大正天皇は青山離宮を御座所とし、  
1913年（大正2年）宮城に遷幸されたのにもない、東宮  
御所は赤坂離宮と呼ばれる。

その後、昭和天皇が摂政宮だった時代に、1923年（大  
正12年）の関東大震災の際と、成婚後、東宮仮御所とし  
て1928年（昭和3年）まで住居として利用。

迎賓施設としては大正天皇と李王殿下の会食、満州国  
溥儀皇帝陛下の宿泊など限られた利用のみだった。

戦後、敷地とともに皇室から行政へ移管。  
国会図書館（1948年（昭和23年）～1961年（昭和36年））、  
法務庁法制意見局（1948年（昭和23年）～1960年（昭和35年））、  
裁判官弾劾裁判所（1948年（昭和23年）～1970年（昭和45年））、  
憲法調査会（1956年（昭和31年）～1960年（昭和35年））、  
東京オリンピック組織委員会（1961年（昭和36年）～1965年（昭  
和40年））に使用。

1967年（昭和42年）、旧赤坂離宮を改修して迎賓館として利用  
することが決定。

1968年（昭和43年）より建設省官庁営繕部の設計監督のもと、  
村野藤吾の設計協力により本館の改修工事が行なわれ、  
谷口吉郎の設計により和風別館を新設。  
1974年（昭和49年）、改修が終了。

迎賓館施設として30年間に計252回の賓客接遇を実施。

近年ではエリツイン大統領（1993年）、シラク大統領（1996年）、  
江沢民国家主席（1998年）、ノムヒョン大統領（2003年）を国賓  
として迎え先進国首脳会議（1993年）、日本・東南アジア諸国  
連合特別首脳会議（2003年）などの会場として使用されている。